

6. 本計画の将来像、基本方針及び目標

6-1 本計画で目指す将来像

「2. 関係法令、上位計画及び関連計画と本計画の位置付け」で求められる公共交通の役割、「3. 南空知地域の概況」、「4. 地域の移動ニーズ等の整理」及び「5. 各種調査結果から明らかになった課題」を踏まえ、本地域における交通ネットワークの将来像を以下のとおりとします。

南空知地域で目指す将来像

**生活圏内の円滑な移動が実現できる
地域間連携が図られた持続可能な交通ネットワークの構築**

6-2 将来像の実現に向けた基本方針及び目標

将来像の実現及び本地域の課題解決に向けた基本方針と目標を以下のとおりとします。

基本方針1 対応課題：1, 2, 3

円滑な移動を実現する持続可能な公共交通の維持・確保

- ・本地域の通勤、通学、買い物、通院、観光及びその他私用などを目的とした移動は、さっぽろ連携中枢都市圏など近隣地域にも及んでおり、本地域で生活し続けるためには、これら生活圏との交通ネットワークの維持・確保は必要不可欠です。
- ・一方で、利用者数の減少や運転手不足の深刻化等により、路線によっては現状の運行体系を維持し続けることが困難となっており、交通ネットワークの断絶が懸念される状況となっています。
- ・そのため、本地域を運行する広域的なバス路線のあり方を位置づけ、最適な交通ネットワークの維持・確保に努めます。

目標① 広域的な交通ネットワークの維持・確保

- ・交通事業者単独もしくは行政単独で維持し続けることが難しい広域的な交通ネットワークについては、関係者間で連携し、路線の維持・確保に努める必要があります。
- ・また、路線全体の利用者数の減少や利用区間の限定化等により、最適化が必要な路線も生じています。
- ・そのため、公共交通の利用状況やニーズを把握し、路線のあり方の検討・協議を適宜実施し、地域一丸となって持続可能な交通ネットワークの維持・確保を目指します。

目標② 公共交通の担い手確保

- ・運転手をはじめとした交通事業者の人材不足は深刻化しており、現状の路線の見直しが行われているほか、各自治体の独自の公共交通の運行継続も危ぶまれることが想定されます。
- ・そのため、行政と交通事業者など関係者が連携し、公共交通の担い手確保に向けた取組を実施します。

基本方針2 対応課題：1, 4

利用者の確保に向けた公共交通の利便性向上及び利用促進

- ・利用者がストレスなく公共交通を利用できるような乗継のシームレス化や、公共交通を利用する意識醸成など、利便性向上や利用促進に努めます。

目標③ 公共交通利用の意識醸成や公共交通の利用拡大

- ・今後も利用者の減少が続くことが想定されるため、地域住民の日常的な移動における公共交通利用の意識醸成や、地域住民のみならず来訪者が公共交通を利用しやすい環境づくりなど、利便性の向上や利用促進に向けた取組を実施します。

6-3 本計画で対象とする公共交通の維持・確保の方針

本地域の交通ネットワークを支える公共交通路線の役割、維持・確保の方針は以下のとおりです。

表 6-1 路線バス (1/2)

運行主体	路線系統名	役割	維持・確保の方針	ネットワーク
	R4 輸送量 R4 平均乗車密度			
北海道中央バス	札幌・夕張線 (高速ゆうぱり号) 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> ・夕張市、南幌町及び栗山町と中核都市である札幌市を結ぶ。 ・約1時間で栗山町-札幌市間を移動できるため主に通勤・通学に利用。 ・レースイリゾートが起終点のため若干名の観光利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、利用状況やニーズを踏まえ、必要に応じて最適化に向けた検討を行う。	札幌 -南幌 -栗山 -夕張
	13.8 4.6			
	札幌・栗山線 (高速くりやま号) 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> ・栗山町と岩見沢市(栗沢)、南幌町及び中核都市である札幌市を結ぶ。 ・約1時間10分で栗山町-札幌市間を移動できるため主に通勤・通学に利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、交通ネットワークの確保に努める。	札幌 -南幌 -岩見沢 -栗山
	35.9 6.1			
	岩見沢美唄線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> ・中核都市群である岩見沢市と三笠市及び美唄市を結ぶ。 ・地域内と美唄市内の高等学校を結ぶ唯一の民間バス路線。 ・約30分で岩見沢市-美唄市間を移動できるため主に通勤・通学に利用。 ・大型商業施設に立ち寄るため買物目的でも利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、利用状況やニーズを踏まえ、必要に応じて最適化に向けた検討を行う。	岩見沢 -三笠 -美唄
16.7 3.8				
三笠線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> ・中核都市群である岩見沢市、三笠市を結ぶ。 ・約1時間で岩見沢市-三笠市間を移動できるため主に通勤・通学に利用。 ・大型商業施設に立ち寄るため買物目的でも利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、交通ネットワークの確保に努める。	岩見沢 -三笠	
102.9 8.3				
月形線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> ・中核都市群である岩見沢市、月形町を結ぶ唯一の民間バス路線。 ・約40分で岩見沢市-月形町間を移動できるため主に通学に利用。 	地域旅客運送サービス継続事業の実施により地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、交通ネットワークの確保に努める。	岩見沢 -美唄 -月形	
15.9 3.7				

表 6-2 路線バス (2/2)

運行主体	路線系統名	役割	維持・確保の方針	ネットワーク
	R4 輸送量 R4 平均乗車密度			
北海道中央バス	岩見沢栗山線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> 中核都市群である岩見沢市、栗山町を結ぶ。 約 40 分で岩見沢市-栗山町間を移動できるため主に通勤・通学に利用。 ※JR は約 20 分 岩見沢市中心部と岩見沢市栗沢地区間の移動に利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、利用状況やニーズを踏まえ、必要に応じて最適化に向けた検討を行う。	岩見沢-栗山
	20.6			
	3.5			
	岩見沢由仁線 【地域間幹線系統】			
16.3				
4.2				
岩見沢長沼線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> 中核都市群である岩見沢市、栗山町・由仁町及び長沼町を結ぶ。 約 1 時間 20 分で岩見沢市-長沼町間を移動できるため主に通勤に利用。 岩見沢市中心部と岩見沢市栗沢地区間の移動に利用。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）等を活用し、利用促進策等を実施しながら、利用状況やニーズを踏まえ、必要に応じて最適化に向けた検討を行う。	岩見沢-栗山-由仁-長沼	
21.0				
4.3				
夕張線 — —				<ul style="list-style-type: none"> 中核都市群である岩見沢市、栗山町及び夕張市を結ぶ。 岩見沢市中心部と岩見沢市栗沢地区間の移動に利用。
—				
—				
下段モーターバス	月形当別線 【地域間幹線系統】	<ul style="list-style-type: none"> 月形町と当別町を結ぶ。 JR 北海道医療大学駅・当別駅で乗換し、月形町と中核都市である札幌市を結ぶ。 	地域旅客運送サービス継続事業の実施により地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助金）を活用し、利用促進策等を実施しながら、交通ネットワークの確保に努める。	
7.4				
0.9				

※北海道中央バス「滝川美唄線」の維持・確保の方針については、中空知地域公共交通計画において位置づける。

※夕張鉄道「札幌代行線①」、新篠津交通「北新線」、ジェイ・アール北海道バス「長沼線」の維持・確保の方針については、さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画において位置づける。

表 6-3 鉄道

運行主体	路線名	役割	維持・確保の方針	ネットワーク
JR北海道	函館本線	・岩見沢市や美瑛市と札幌市や旭川市等の中核都市を結び、ビジネス・観光等の都市間移動や地域内における通学・通院等に利用。	関係する市町等や JR 北海道と連携しながら、利便性向上及び利用促進に取り組む。	札幌 旭川等 -岩見沢 -美瑛
	室蘭本線	・岩見沢市、栗山町及び由仁町と苫小牧市等の中核都市を結び、地域内における通学等に利用。		岩見沢 -栗山 -由仁
	石勝線	・夕張市や由仁町と札幌市、千歳市、帯広市及び釧路市等の中核都市を結び、地域内外への各種目的に利用。		札幌 千歳 帯広等 -夕張 -由仁

